

「第10回活力と魅力溢れる漁村づくり 日本海地区大会」開催

午前9時のシジミシンポジウムから一転して、午後からは青森県漁村活性化対策協議会主催による「第10回活力と魅力溢れる漁村づくり日本海地区大会」が開催された。

本大会の開催趣旨は、「豊かな食文化（グルメ）」「清澄なる居住環境」「永久就業」の三本柱を兼ね備えた漁村づくりのための漁業者自らが漁村に生きる喜びを再認識し、その活性化を図るとともに県民に広く漁村文化と漁業者の活力を印象付け、魚食の普及と漁村への理解を深めることを目的に五所川原市で開催されました。

日本海地区での開催は二回目となるが、開催にあたり植村正治大会長は「二十一世紀を迎え、我々は、二十一世紀は漁村の時代と標榜してきた。今後はこの地場産業を守っていくことが大事である。住み慣れたすばらしい漁村を子孫へ引き継いでいくという責務があり、これは大きな財産である。漁村のイメージは良くないが意



熱唱する北見恭子

識の転換により、健康、環境、協業ができるというすばらしい漁村づくりを進めていかなければならない。人生に希望を持って各地区において開催され、今回で十回目となる。日本ほど漁港が整備されている国は他にない。有効に活用しながら資源を守り、この大自然の中で希望を持って生きていくことが大切である」と挨拶した。

この後、カラオケや郷土芸能が行われ、最後に歌謡ショーとしてコロナビアレコードの北見恭子ショーがあり、会場内は熱気に包まれ惜しめない大きな拍手が送られ、大会は盛会のうち無事終了した。



津軽深浦北前太鼓



鹿獅子舞



べごおどり